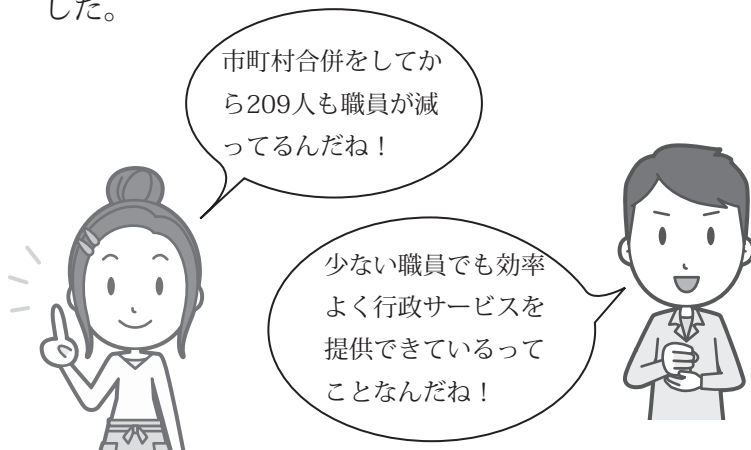


## 重点目標 2 職員数の抑制

行政の実効性の確保や、多様化・高度化した市民ニーズにきめ細かく応えていくために、職員数を抑制しながらも適正な配置を行い、行政サービスを低下させないように努めました。



職員数の推移 (各年度4月1日現在)

年度	職員数	増減 (H17年度と比較)
H17(合併前)	1,077人	—
H22	952人	△125人
H26	883人	△194人
H27	868人	△209人

市内人口に対する  
職員数の県内比較 (平成27年4月1日現在)

項目	職員1人 あたりの人口	県内順位
古河市	162.3人	9位
県内平均	142.6人	—

## 重点目標 3 ファシリティマネジメントの確立

### ファシリティマネジメントとは

すべての公共施設等をこれまでと同様に保有し、維持していくことは現実的に困難です。公共施設等の適正な管理と活用を確立させることで、持続可能な行政サービスの提供を行います。

### 平成27年度の実施内容

「行政改革」・「量の改革」・「質の改革」の実施に向けて「古河市ファシリティマネジメント推進会議」を設置し、各所管課長による「専門部会」で分野別施設方針の策定に取り組みました。

## 行政改革推進委員からの主な意見

### ●持続可能な財政運営について

市の財源の確保に向けて、公債権および私債権の管理回収の強化に努めていただきたい。ふるさと納税については、市のPRも兼ねていることから、納税額の増加も含めて、さらなる充実を図っていただきたい。

### ●資産の利活用(ファシリティマネジメント)について

公共施設の改修や更新等の実施に際しては、それぞれの手法のコスト比較や施設の修繕時期等について十分考慮したうえで、適正な運用を行っていただきたい。



▲実績報告に対して市へ意見書を提出した森委員長(中央)、中田副委員長(右)